



THE SERVICE CLUB OF YMCA  
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2022年6月

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

# 札幌クラブ

評価・IBC (International BrotherClub)

— 主題 —

国際会長 「世界とともにワイズメン」  
アジア会長 「100年を越えて変革しよう」  
東日本区理事 「私たちは次の世代のために何が出来るか？」  
北海道部部长 「心を高めようパート2 ワイスダムの繋りを友情の輪に」  
札幌クラブ会 「踏み出そう 次の一步」

キム・サンチュ (韓国)  
大野 勉 (神戸ポート)  
大久保 知宏 (宇都宮)  
中村 義春 (十勝)  
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員  
会長 柴田 伸俊  
副会長 伏木 康  
書記 伏木 康  
会計 秋葉 聡志  
直前会長 宮崎 善昭

今月の言葉

「ボール投げはやめましょう。」

.....札幌市中央区 桑園公園の看板.....(柴田伸俊選)

2022年6月4日 東日本区大会報告

2022.6.4 9:30~11:30 ビデオ会議  
多くの案件の中で、北海道部、札幌クラブに  
関係する事案を報告いたします。柴田伸俊記

1. 第27回東日本区大会のホストクラブに**十勝クラブ**が立候補。2024年6月開催予定。
2. 次期理事(22-23年度) **佐藤重良(甲府21)**  
次次期理事(23-24年度) **山田公平(宇都宮)**  
次次次期理事(24-25年度) 未定
3. 次期理事(22-23年度) 佐藤重良  
**主題:「未来に向けて今すぐ行動しよう」**  
**スローガン:「誰かのために奉仕して  
自分のために楽しいクラブライフを」**
4. 次期北海道部部长 **小谷和雄(札幌北)**

※上記4項目いずれも承認されました。

- ・ 理事報告、各部長報告

「ウクライナ情勢とワイズ・YMCA ができること」  
をテーマとして、ヨーロッパYMCA 同盟総主事、  
デンマークワイズ次期理事、日本YMCA 同盟田口総  
主事へのインタビューがあり、今のウクライナ情勢  
をとらえた各国のワイズ、YMCA の動きや考え方が  
良く伝わったインタビューでした。

2021~2022年度北海道部第3回評議会

2022年6月9日ビデオ会議 zoom

- 1号議案 2022-2023年度次期北海道部役員(次期部長)の確認について 部長:中村 義春
  - 第2号議案 2021-2022年度北海道部決算見込みの確認について 会計:赤松 明彦
  - 第3号議案 2022-2023年度CS資金(札幌クラブ)申請の件 札幌クラブ会長:柴田 伸俊
  - 第4号議案 2022-2023年度CS資金(北見クラブ)申請の件 北見クラブ会長:山田 剛
  - 第5号議案 2022-2023年度CS資金(十勝クラブ)申請の件 十勝クラブ会長:矢竹 克年
  - 第6号議案 2022-2023年度チミケップワークキャンプ開催の件 次期北海道部長:小谷 和雄
  - 第7号議案 北海道YMCA 機関誌にワイズ情報を掲載するための担当者選任のお願い:Change!2022
- 第5号議案について、「リトミック」は「Yサ」ではないかという質問があり、審議の結果、「CS」として承認されました。
- 第7号議案は審議の結果、伏木康(札幌クラブ)が選任されました。

中村部長と部長スタッフは2年間、コロナを口実にせず、緻密な活動で北海道部をリードされました。お礼を申し上げます。(中田靖泰記)

2022年5月例会  
出席報告

在籍会員 9名  
ゲスト 0名

例会出席 8名  
出席者合計 8名

メネット 0名  
(内リモート 1名)

メーキアアップ 0名  
出席率 100%

## 札幌ワイズメンズクラブ 2022年6月例会

日時：2022年6月21日（火）18:30～20:30

会場：北海道 YMCA 101 教室+リモート

会費：1,000円（会食なし、弁当持ち帰り）

### プログラム

司会 副会長 伏木 康

- ① 開会点鐘 会長 柴田 伸俊
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全員
- ③ 今月の言葉 & なぜこの言葉を
- ④ 開会あいさつ 会長 柴田 伸俊
- ⑤ 誕生日 なし
- ⑥ 結婚記念日 なし
- ⑦ 卓話

### 「今期、振り返ってみると！」

自慢、反省、喜び、悲しみ、希望、計画  
その他、なんでも



**出席者全員**  
(一人7～8分)

- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA 報告 担当主事 北川 佳治
- ⑩ 今月の歌

### 「ソーラン節」 (北川 佳治選)



- ⑪ 閉会あいさつ

札幌クラブ会長 会長 柴田 伸俊

### なぜこの聖句を！ 柴田 伸俊

およそ「今月の言葉」にふさわしくない一文を今年度最後のブリテンに掲載した事を、まずもってお詫びいたします。久々に衝撃的な出来事を体験したので、詳しくは例会にてお話ししたいと思います。

### 札幌ワイズメンズクラブ5月例会記録

日時：2022年5月17日（火）18:30～20:00

出席：柴田・秋葉・小野・中田・宮崎・山崎・安田・北川

久々の会員対面、全員参加で例会が始まった。メインは小野 健メンの卓話「ブルキナファソの過去・現在そして未来」仔細は別紙で報告されます。

ブルキナファソの名は小野さんのお陰で身近に感じられていたが、今回資料の地図でしっかり国の場所も確認でき、この国での仕事はなかなか大変そうに思われる。フランス植民地時代からの国の変遷をととても判りやすく説明してもらい、独立後も不安定な政情下、日本の戦国時代を思わされる。また身近な国の一つになった。

・京都パレス50周年例会の報告（伏木会員）

・12月のキタラコンサートの報告（安田会員）

（柴田伸俊記）

### 札幌ワイズメンズクラブ5月事務会記録

日時：2022年5月24日（火）19:00～20:00

出席：柴田（長）・秋葉・小野（web）・中田

#### 【議事内容】

1. 6月ブリテン内容

分担別紙参照。原稿締め切り：6月12日（日）

発行予定：6月13日（月）

2. 6月例会・事務会について

**例会** 日時：6月21日（火）18:30～20:30

場所：YMCA 101号室 会費/1,000円

会食せずに弁当持ち帰り

卓話者：なし 会員卓話（1年を振り返って）

**事務会** 日時：6月28日（火）19:00～20:00

※対面&リモート

- ・7月例会 <7月卓話者> キャンプ関連で検討中

3. 札幌クラブ次期伏木会長計画

事務会で継続審議、固めていく。

4. 北海道部臨時役員会出欠 第3回評議会

日時：2022年6月9日（木）19:00～リモート

【出席義務者】柴田、伏木、秋葉、宮崎 ※秋葉出張の為欠席。委任状提出。※中田メン陪席

5. チミケップワーク 日時：2022年7月16日（土）13:00～参加者：柴田、中田、伏木

6. YMCA 関係 地域支援活動「親子ダブルダッチ体験会」 日時：6月25日（土）15:00-17:00 YMCA 体育館にて 対象：親子20組

内容：ダブルタダッチ体験&トランポリン

※予算：予算50,000円から20,000円を拠出

ワイズ参加・見学者は後日確認

7. その他

札幌北ワイズの会員現況を共有。札幌クラブとしてできることから支援することを確認。（秋葉記）

## 5月例会卓話 「ブルキナファソの過去、現在そして未来」 小野 健

西アフリカの内陸国であるブルキナファソは、多くのアフリカ諸国が独立を果たしたアフリカの年と呼ばれる1960年にオートボルタ共和国として独立しました。日本の皆さんにはなじみの少ない国です。

ブルキナファソの国家元首（大統領）は、初代のモーリス・ヤメオゴ（1960年～1966年）、から民主的な選挙によって政権が変わったことはなく、軍事クーデターによる政権交代が続いてきました。セネガルやガーナなどの一部の国を除いて、西アフリカの各国では民主的なプロセスではなく、軍事クーデターにより政権が変わっていくという歴史を繰り返してきました。日本も含む欧米型の民主主義的な国の施政が必ずしも絶対とは言い難く、それだけではないのですが、頻発する力による政権交代とそれに伴う国内の様々な政治・社会的な混乱がアフリカの発展を妨げてきた一因といえるかもしれません。

アフリカの片隅の小さな国で日本にはほとんど知られず、トーマス・サンカラが夢見てブルキナファソ（高潔な人々の国という意味）と名付けたように、みんな貧しくともまじめで悪いことをせず平和に暮らしている国というイメージを私も含めて多くの方が持っていたような気がします。しかし、グローバル化の波はこの小さな国にも押し寄せ、インターネットやSNSの普及で国の外の様々な情報が入ってくるようになりました。2014年に27年間続いてきて今後もそう簡単に倒れることはないと思う人が考えていたコンパオレ政権が、大統領任期3選の憲法改定を試みたことに対する市民の強烈な反発と抗議運動、それに続く軍の介入により、あっという間に崩壊してしまいました。これは長年続いた独裁政権であり政権に近い特定の人たちだけが繁栄を享受していたことに対するブルキナ市民からのNO!という答えであったとともに、2000年代前半から頻発してきた過激派組織による暴力、アラブの春と呼ばれる反政府運動、長年ブルキナファソを下支えしていたリビアのカダフィ政権の崩壊など、ブルキナファソ国内だけでなく周りの大きな変化も大きなターニングポイントとなりました。

コンパオレ政権崩壊の後、2年間の暫定統治を経て（その間2015年9月には旧コンパオレ大統領警備隊によるクーデター未遂事件が発生しました。様々な調停などによりクーデター首謀者たちは投降、軍同士の戦闘という最悪のシナリオは回避されました）、2016年に民主的なプロセスを経て、ロック・マルク・クリスチャン・カボレ氏を大統領とする政権が誕生しました。

市民行動により独裁政権を打倒し軍政をはねのけて民主的な政権を立てたという国民の自信と期待の中でカボレ政権がスタートしました。しかし、マクロ経済を重視するあまり国の経済成長の数値は伸びましたが、経済格



差はさらに広がり貧困層はますます苦しい生活となり、政権に近い人たちが利益やポストを独占され汚職が蔓延（高潔な人たちが泣きますね...）、2016年1月以降ワガドゥグでこれまでに計3回発生したテロ事件をはじめ、全国各地で過激派による襲撃や地方の実効支配が続き、複数の村での大量虐殺事件なども発生しました。地方の治安悪化に伴い村を捨てて首都や地方都市に逃げ込んだ国内避難民は今年中に200万人を超えるとも予想されています。しかし、カボレ政権は有効な対策を打ち出すことができず、逆に治安対策にあたる前哨の軍駐屯地に武器装備はおろか2週間以上食糧すら供給されず（駐屯地を監督する軍上層部による横流し・中抜きが指摘されています）、餓死寸前の中で過激派集団による攻撃に遭いほぼ全滅してしまうという悲劇的な事件も発生してしまいました。このような中、軍の若手将校の中で政権や軍上層部に対する不満が極限にまで高まった結果、2022年1月24日に軍若手将校によるクーデターが発生しました。カボレ大統領はじめ閣僚・政権有力者が拘束され、軍による暫定政権が樹立し、首謀者の一人であるポール＝アンリ・サンダオゴ・ダミバ中佐が大統領に就任し、3年間の暫定政権がスタートしています。現在政府組織の再編や人事、国内市民組織や国際コミュニティとの対話が進められていますが、その間も国内の治安は引き続き悪化しており、今後3年間でどのような対策をとって結果を出していくのかが注目されています。

足掛け25年にわたって私はブルキナファソと付き合い合っていますが、その間様々なことが大きく変わってきました。これからもブルキナファソの人々に寄り添いながら、この国の未来を見ていきたいと考えています。

卓話者 小野 健（たけし） 札幌クラブ会員

北海道出身（生まれは北見、小学校6年12月まで旭川、中学は室蘭、大学は帯広、現在は札幌在住。）JICAの青年海外協力隊（セネガル）での経験を経て、途上国援助の重要性を痛感し、現在、「アース・アンド・ヒューマン」所属。ブルキナファソ、エチオピアなどアフリカ各地で開発の教育、指導に奔走している。  
ご夫人のエレナさんはマダガスカル出身です。



左：前、現大統領  
ロック・マルク・クリスチャン  
(在任2016～2022年)



右：  
ポール＝アンリ・サンダオゴ・ダミバ  
(在任2022～?)

